災害のとき、地域で助け合える仕組みはあるの？

《30歳代女性》

声② わが家には、小さい子どもがいます。大きな災害に備えて、懐中電灯などの緊急避難用品や非常食を用意していますが、家族だけで避難できるのか、とても不安です。

私たちと同じように、小さな子どもがいる家庭では、同じような思いを持っているはずです。

いざというときに、地域で助け合いができれば本当に安心です。そのような仕組みはあるのでしょうか。

お答え② 災害が発生したとき、「自分の命は自分で守る『**自助**』」が基本となります。

しかし、災害の大きさによっては、自分ひとりで対応することが難しいことがあります。

そのとき、「地域の助け合いにより地域の安全を守る『**共助**』」が重要です。

阪神・淡路大震災では、倒壊した家や家具の下敷きになった方の多くが、地域住民の力で救助されました。

東日本大震災においても共助の重要性が再認識されています。

現在、市内では、67の町内会で、自発的に自主防災組織を結成し、災害発生時の地域住民の救出を想定した訓練や避難所の運営など、災害発生に備えています。

日頃から自主防災組織や町内会などの地域活動に積極的に参加し、近隣の方とのつながりを深め、災害のときに協力し合える関係を作るようにしましょう。

【危機管理課防災・危機対策係 ☎(24)0144】

イマハナ いまさら聞けない話？

新千歳空港にある滑走路２本の使い分けは？

新千歳空港では、通常、ターミナルビルから手前側のＡ滑走路を離陸用、奥側のＢ滑走路を着陸用として、２本の滑走路を使い分けています。航空機は、風に向かって運行する特性があるので、一年を通じて風向きが南北に一定している新千歳空港の滑走路は、南北方向に整備されています。新千歳空港で航空機は、北風のとき（札幌から千歳方向への風）には、滑走路から北（札幌方向）に向かって離陸し、南（苫小牧方向）から着陸しています。南風のときには、その逆となります。

【詳細】空港・基地課空港係 ☎(24) ０４６７

【ワンポイントメモ】

市と千歳市防災マスターリーダー会が市民協働事業により、自主防災組織の結成支援や災害発生時に備えた出前講座を実施しています。自主防災組織を結成したいがどうしたらよいか分からないときは、危機管理課までお問い合わせください。

案内 「いまさら、なかなか聞けないわ」ということはありませんか？小さなことでも、正しく理解していただくために、「イマハナ」コーナーでは、皆さんのささやかな疑問にお答えします。

市のしごと紹介 セクション 95 きゅうじゅうご

市の組織には、95種類の課（セクション）があります。（平成25年4月1日現在、派遣職員の所属を除く）皆さんは、市役所がどのような「しごと」をしているのかご存じですか？

産業振興部主幹
粥川（かゆかわ） 治（おさむ）

道の駅をリニューアル（再整備）します！

◎ 産業振興部主幹（道の駅再整備担当）［本庁舎4階］

産業振興部主幹（道の駅再整備担当）は、サーモンパーク内の道の駅をリニューアルするために、今年４月に新設しました。兼務職員を含めて４人で業務を担当しています。

今ある道の駅は、平成17年６月から供用を開始しました。パーク内には淡水魚水族館の「千歳サケのふるさと館」があり、サケの遡上時期には多くの市民や観光客が訪れています。

新しい道の駅は、「清流せせらぐ まちなか にぎわい空間」をテーマに、休憩所や情報コーナー、飲食、物販などの機能を集約した施設を建設し、駐車場や園路なども利用しやすいように整備する予定です。

また、多くの楽しいイベントを企画して、年間を通してにぎわいのある空間づくりも目指します。

平成27年度のリニューアルオープンに向けて、魅力ある道の駅となるように事業を進めています。

【お問い合わせは】
産業振興部主幹
（道の駅再整備担当）
☎(24) ０３７７